

追加関連論文 (L-グルタミン酸アンモニウム)

1 . 食品添加物公定書解説書(第 7 版). 廣川書店 (1999): D436-451.

・・・P1

L-グルタミン酸、同カリウム塩、同カルシウム塩、同マグネシウム塩の溶解度は、水 100 g (20) に対し、順に 0.72 g、173 g、30 g、66 g とされている。

2 . FDA and Monosodium Glutamate(MSG). FDA Backgrounder. (1995)

<http://www.cfsan.fda.gov/~lrd/msg.html>

・・・P17

FDA は 1980 年～1994 年に L-グルタミン酸ナトリウム摂取後の副反応に関する多数の報告を受けている。しかしながら、1995 年の FASEB 報告書においては、L-グルタミン酸ナトリウムを 3 g 以上、食事なしの条件で経口摂取した後 1 時間以内にいわゆる CRS の症状を引き起こすヒトがいるとする報告があるものの、通常、L-グルタミン酸ナトリウムを使用した食品の通常の 1 食分量(サービング)では、その含有量は 0.5g 未満であるので、そのような症状は大量に摂取された場合に生じるものではないかとしている。また、ヒトにおいて、L-グルタミン酸ナトリウムの摂取により脳の病変あるいは神経細胞の傷害が惹起されることを示唆する証拠はないとしている。

3 . Geha RS, Beiser A, Ren C, Patterson R, Greenberger PA, Grammer LC et al. Multicenter, double-blind, placebo-controlled, multiple-challenge evaluation of reported reactions to monosodium glutamate. J. Allergy Clin. Immunol. (2000)106: 973-980.

・・・P23

米国において、L-グルタミン酸ナトリウムの摂取と CRS の関係については適切なプロトコールによる二重盲検試験が不足していることなどから二重盲検試験が実施され、2000 年、関連性を否定する結果が報告されたもの。参考文献 15 にもその概要について記載がある。

また、FDA の 1996 年の報告によると、米国における L-グルタミン酸ナトリウムの日平均摂取量は 0.2～0.5 g とされている、との記載がある。